

センター活動物品提供票

(寄付・借用兼用)

日時	平成 年 月 日 ()			
提供者	<input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> その他 () (企業・団体名)			
	(代表者) <small>フリガナ</small> 氏名			
区分	<input type="checkbox"/> 寄付 / <input type="checkbox"/> 借用 (<input type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料)			
提供品	品名・規格	数量	確認	管理台帳・品番
	(1)			
	(2)			
	(3)			
	(4)			
	(5)			
	(6)			
	(7)			
	(8)			
	(9)			
(10)				
寄付条件	<input type="checkbox"/> 条件なし / <input type="checkbox"/> 条件あり ()			
借用条件	借用期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日		
	借用料等			
備考			受入 担当者	
返却確認	返却日	平成 年 月 日	返却 担当者	

- (注) 1 借用品についてはコピーを返却期日順に重ねて管理すること。
 2 返却日には、借用品と共にこの用紙を持参し確認願うこと。

災害ボランティア活動にご協力いただきありがとうございます。
より良い活動となるよう、下記の内容についてご注意くださいようお願いいたします。

1 ボランティアの心構え ～基本的な留意事項

① 自己管理と自立

けがや病気、事故等に充分注意し、過労や睡眠不足にならないように健康管理を行ってください。また、食事や宿泊場所の確保、帰路時の交通費、貴重品の管理など、自分のことは自分で行うようにしてください。

② 被災者の立場に立った活動

災害が発生してからしばらくは、多くの被災者が混乱した状況にあります。挨拶や言葉かけなどを大切に、被災者とコミュニケーションを取って下さい。

また、被災者の中には大切な家屋や親族を失った人たちがいらっしゃいます。張り切る気持ちが、はしゃいだ対応にならないよう気をつけましょう。

「してあげる」「してもらう」の関係ではなく、災害復旧に向けて「協働する」という気持ちで取り組んでください。

③ 集団のルールを守る

災害ボランティア活動はグループでの活動です。勝手な判断はやめ、分からないことや問題が起きたらグループメンバー、または、ボランティアセンタースタッフに相談して下さい。

④ 断る勇気を持つ

ボランティアとして「できること」、「できないこと」、「してはいけないこと」を考えて、無理のない行動を行うことが必要です。気持ちが先走り、できないことまで引き受けてしまうのはやめましょう。できないことはできないと断る勇気が必要です。

トラブルは事前に回避しましょう。

⑤ 思い込みをなくす

勝手な思い込みが被災者との心のすれ違いを生むこともあります。また「自分がやらなければ！」といった気負いすぎも、被災者にとっては大きなお世話になる場合もあります。「何をやるべきか」「何が求められているか」をしっかりと理解し、役に立つ活動をしましょう。

⑥ 地域住民の自立を支援する

被災者とボランティアは復興に向けて「一緒に協力する」関係です。やり過ぎて被災者の自立を遅らせることのないように、気を付けることが重要です。

2 ボランティアの服装・持ち物

皆様に活動していただくのは被災した街です。いつ、どこで、何が起こるか分からないので、できるだけ万全な装備でお出かけください。「備えあれば憂いなし」です。

服装

- * 動きやすい服装。けが防止のために長袖、長ズボン。汚れてもいい服装。（季節・気候から、防寒性・通気性を考えましょう。センターで配布した腕章、名前シールを、目立つ所に付けてください）
- * 帽子。日射病、日射病対策。
- * マスク。粉塵を吸い込まないようにするため。
- * 長靴（または底の厚い靴）
- * ウエストポーチ、またはリュック（両手が空くように）

持ち物

- * 軍手、ゴム手袋、タオル（複数枚）、着替え、雨合羽（小雨程度であれば、活動してもらうことがあります）
- * 食べ物（昼食を用意。腐りにくいもので）
- * 飲み物（塩分の入ったスポーツドリンクなどが良い）
- * 懐中電灯
- * 携帯電話
- * 薬（うがい薬、バンドエイドなど）

ボランティア活動に行く前に必ずお読みください！**活動の前に・・・**

依頼者の気持ちを尊重して下さい。相手によって望んでいることは違います。自分に合わせて活動するのではなく、相手に合わせて無理強いしないように活動して下さい。

活動する時の注意事項

- * 活動中は、災害ボランティアセンターから来たとはっきり分かるよう、腕章をつけ、名前シールを書いて、体の分かりやすい位置に貼って下さい。
- * 安全に活動するためにも休息を取りましょう。
- * けがのないように充分注意して下さい。
- * 危険な作業、企業の営利行為、政治的・宗教的活動への手伝いは断って下さい。
- * 謝礼は受け取らないでください。(お茶やジュースくらいであれば気持ちよく頂きましょう)
- * 昼食を挟んでの活動が見込まれる場合は、各自で昼食を用意して下さい。
- * 必ず2人以上で行動して下さい。持ち場を離れる場合はリーダーへ連絡して下さい。
- * ごみが必要な物かどうかをきちんと確認して下さい。ごみは分別をきちんと守って下さい。
- * 被災地で撮影(カメラなど)する場合は、被災者の心情やプライバシーに対する十分な配慮をお願いします。
- * マスコミ等からの取材に対しては、不確実な情報は話さないでください。マスコミ報道の影響は大変大きく、間違った情報が流れると混乱の原因になります。
- * 活動上知り得た個人情報及びプライバシーは、他者へ漏らさないでください。

活動が終わったら・・・

- * 16:00までにセンターへ戻れるよう、作業を終了してください。事故を防ぐためにも時間厳守して下さい。
- * 依頼者に作業終了の確認をして下さい。
- * 活動証明書の必要な方は、ボランティアセンター帰着後、スタッフまでお声がけください。

☆☆☆ こんな時は、必ず災害ボランティアセンターへ連絡してください。☆☆☆
「けがをした」「体調が悪くなった」「活動が危険、または手に負えない」
「依頼された以外の活動を頼まれた」「判断に困った」

五泉市災害ボランティアセンター**TEL: 0250-41-1000**

グループリーダーへのお願い

活動に行く前に…

- 参加者の持ち物（軍手、マスク、長靴、タオルなど）を確認して下さい。
- シャベル、バケツ等、必要な資材については、持っていく前に数を確認し、確実に返却して下さい。
- (場合によっては)出発前に、依頼者へ電話連絡を入れて下さい。

依頼者宅/避難所に着いたら…

- 「五泉市ボランティアセンターから来ました」と伝え、依頼者に「依頼者様へのご案内」を渡して下さい。そして、作業内容を確認して下さい。
- 危険なものや災害ボランティアとは関係がないと思われるもの（販売行為、政治的・宗教的活動、寄付を求める活動など）、判断に困る場合は、活動に入る前にセンターへ連絡し、指示を仰いで下さい。

活動中に…

- グループメンバーの中でけが人等が出た場合は、すみやかにセンターへ連絡して下さい。
- 作業途中であっても、時間が来たら終了して下さい。
16:00 までに必ずセンターへ戻って下さい。

活動終了後…

- 活動終了時に、災害ボランティアセンターに電話連絡をして下さい。
- 依頼者に、活動継続を希望されるかどうかを確認して下さい。(希望がある場合は、センターへ帰着した際に、その旨をスタッフまでお知らせ下さい)

センターへ帰着したら…

- 借りた資材を返却して下さい。
グループで報告書を作成し、腕章と合わせてマッチング班まで提出して下さい。

依頼者様へのご案内

私たちは五泉市災害ボランティアセンターから来ました。

ボランティアへの報酬は必要ありません。

ボランティア活動で気づいたこと、継続依頼等については、

災害ボランティアセンターまでご連絡ください。

<ご理解いただきたいこと>

- 作業中に大きな余震等が発生した場合は、作業は中断させていただきます。
- ボランティアは 16:00 までにボランティアセンターへ戻らなければなりません。作業が途中であっても、時間となりましたら活動を終了させていただきます。
- 作業の安全のため1時間に1回程度、休憩時間を取ります。
- ボランティアのためのトイレをお貸しください。

<お断りする作業>

- 営利行為、政治的、宗教的活動へのお手伝い。
- リーダーが危険と判断する作業（例：傾いた家屋内、高所作業など）

問い合わせ・連絡先

五泉市災害ボランティアセンター

住 所: 五泉市太田1092番地1(五泉市福祉会館内)

電 話: 0250-41-1000

FAX: 0250-43-0546

災害ボランティア募集中

五泉市災害ボランティアセンターでは、各種ボランティアを募集しています。
関心のある方は、ぜひ、ご協力をお願いいたします。

◆ 作業の内容

家屋の片付け、清掃、避難所の手伝い、ごみの収集など

※専門技術をお持ちの方、団体・企業等のボランティアも募集しています。

◆ ボランティアへ来てくださる皆様へ

- ・来られる際には、事前にボランティアの募集状況を確認して下さい。
- ・昼食、飲み物は、持参して下さい。
- ・無報酬です。交通費も自己負担です。
- ・汚れてもいい服装で参加して下さい。（ケガ防止のために長袖、長ズボン）
- ・マスク、着替え、軍手、ゴム手袋、タオル（複数枚）等をご用意ください。
- ・18歳未満の方は、保護者の了解を得た上で、参加して下さい。
- ・ケガ等の事故に備え、健康保険証の持参をお願いします。
- ・ボランティア保険（天災プラン）に加入していることが必須となります。

※ 詳細については、五泉市災害ボランティアセンターまで。

TEL : 0250-41-1000

住 所：五泉市太田1092番地1（五泉市福社会館内）

FAX：0250-43-0456

<交通手段>

JR 磐越西線五泉駅より徒歩20分

※なるべく車でのお越しはご遠慮ください。

※駐車場は、〇〇〇になります。

五泉市災害ボランティアセンターをご利用ください。

家屋の片付けなどでお困りの方

私たちがお手伝いします

◆ 五泉市災害ボランティアセンターとは・・・

被災地の復興支援のため、各地から駆けつけて下さったボランティアに、活動場所を紹介しています。

◆ 利用方法

お電話にて下記までお申込みください。

※ FAX での申込を希望される方は、「連絡先・手伝ってほしいことの内容（詳細）・希望日時・希望派遣人数」をご記入ください。センターより、電話または FAX にて、確認の連絡をさせていただいた後、訪問となります。

◆ 受付時間

電話 9:00～17:00 まで

（実際のボランティアの訪問時間は、センター発着が 9:00～16:00 になります）

◆ お願い

依頼の内容によっては、ご要望にお応えできない場合もございます。ご了承ください。

（例：傾いた危険家屋内での作業、屋根に上るなどの高所作業）

災害ボランティアセンターでは、ボランティアを募集しています。ご協力いただける方は、下記までご連絡ください。

五泉市災害ボランティアセンター

五泉市太田 1092 番地 1（五泉市福祉会館内）

TEL：0250-41-1000

FAX：0250-43-0456

五泉市災害ボランティアセンターマニュアル策定委員名簿

(敬称略)

平成27年3月31日現在

No.	所 属	氏 名
1	(一社)五泉青年会議所 理事長	佐久間 哲 平
2	(一社)五泉青年会議所 直前理事長	馬 場 英 明
3	(一社)五泉青年会議所 副理事長	高 野 雄 矢
4	(一社)五泉青年会議所 専務理事	伊 藤 博 之
5	越後天然ガス株式会社 代表取締役社長 (一社)五泉青年会議所 2014年度 防災意識醸成委員会 委員	小 出 薫
6	五泉市ボランティア連絡協議会 会長	狩 谷 ケ ン
7	新潟県赤十字安全奉仕団五泉市分団 委員長	田 島 孝 子
8	五泉市総務課 防災係 主査	吉 井 総 信
9	五泉市健康福祉課 医療対策係 主事	阿 部 貴 之
10	五泉市社会福祉協議会 地域福祉係 係長	樋 口 智 (事務局)
11	五泉市社会福祉協議会 主事	梅 田 俊 樹 (事務局)

発行・改定

平成27年 4月 1日	初版発行
	改定
	改定
	改定

編集・発行

社会福祉法人 五泉市社会福祉協議会

〒959-1825

新潟県五泉市太田1092番地1（五泉市福社会館内）

TEL : 0250-41-1000 / FAX : 0250-43-0456

URL : <http://www.gosen-syakyo.ecnet.jp>